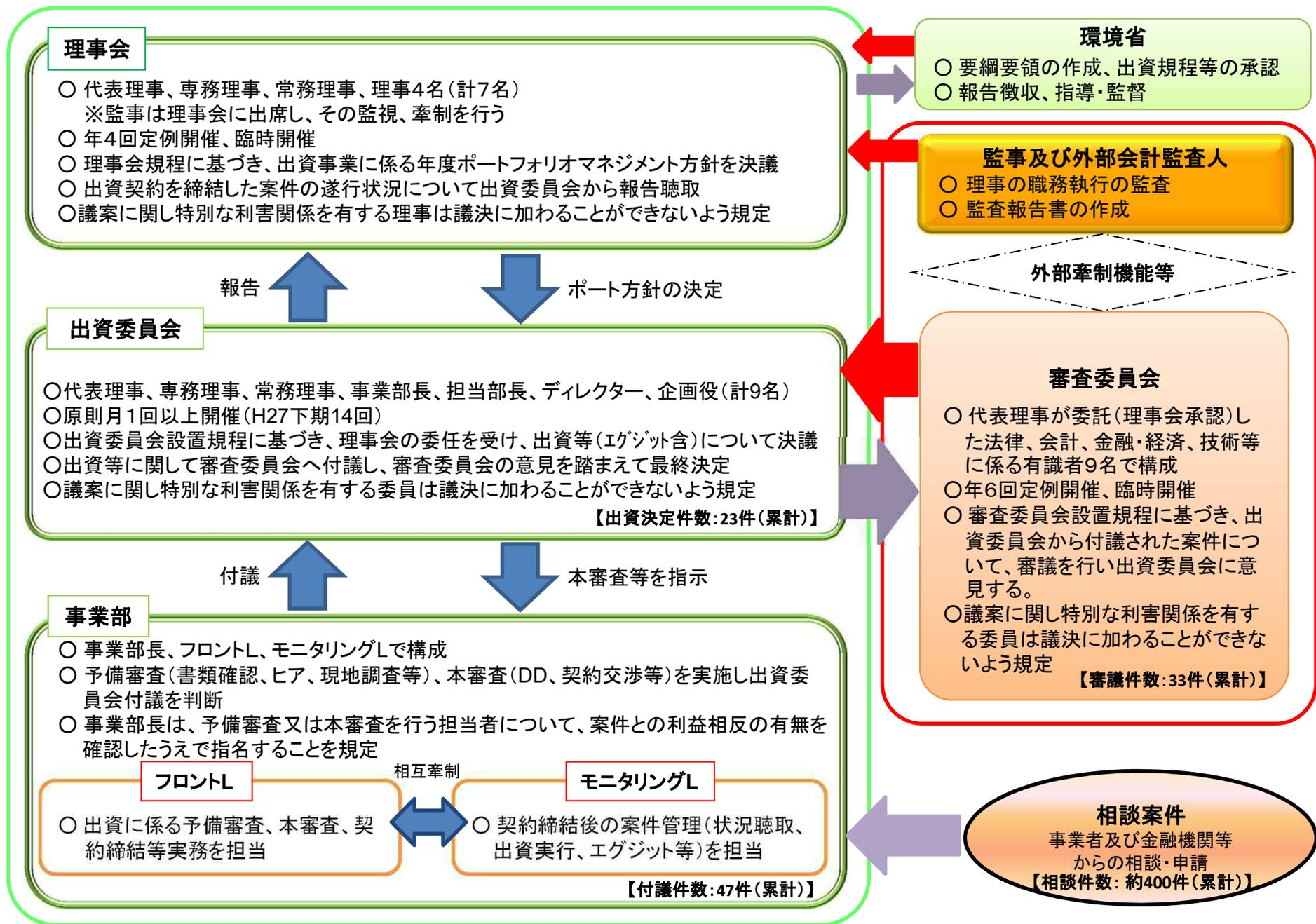


地域低炭素投資促進ファンド事業について

平成28年6月

環境省

地域低炭素投資促進ファンド事業におけるガバナンス・人事について



出資委員会委員・審査委員会委員について

代表理事

末吉 竹二郎(すえよし たけじろう)

(国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)特別顧問)

(略歴)

1967年 三菱銀行入行

1994年 同行ニューヨーク支店長
同行取締役

1996年 東京三菱銀行信託会社(NY)頭取

1998年 日興アセットマネジメント副社長

2003年 国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)特別顧問(現任)

2013年 当機構 代表理事

出資委員会 委員

金融機関出身者、会計コンサルタント業務経験者等
9名で構成

	役職名
委員長	代表理事
委員	専務理事・事務局長
	常務理事
	事業部長
	事業部担当部長
	事業部企画役1名
	事業部ディレクター3名

審査委員会 委員略歴

低炭素技術、地域経済、法律、会計、経営、金融等に係る有識者9名で構成

	委員名	役職
委員長	安井 至	東京大学 名誉教授
委員	荻本 和彦	東京大学生産技術研究所 人間・社会系部門 エネルギー工学連携研究センター 特任教授
	藤野 純一	国立環境研究所 社会環境システム研究センター 主任研究員
	岩船 由美子	東京大学生産技術研究所 人間・社会系部門 エネルギー工学連携研究センター 特任教授
	水上 貴央	弁護士、再エネ事業を支援する法律実務の会 理事長、行政改革推進会議歳出改革WG 委員
	荒川 真司	公認会計士、成和総合会計事務所 代表
	古宮 正章	日本政策投資銀行設備投資研究所 所長
	岸本 幸子	パブリックリソース財団 専務理事・事務局長
	松岡 俊和	北九州産業学術推進機構 専務理事

地域低炭素投資促進ファンド事業のKPIについて

ファンド全体のKPI

個別案件のKPI

収益性

収益性

- ・機構全体の長期収益性
目標:1.0倍超

収益性

- ・個別案件の収益性
目標:1.0倍超

CO₂削減効果

- ・出資額当たりの年間CO₂削減量
目標:2,000 t-CO₂/年/億円以上
- ・出資案件の年間CO₂削減量(見込)に対する達成度
目標:年間CO₂削減量(見込)の80%以上

CO₂削減効果

- ・各出資案件の年間CO₂削減量(見込)に対する達成度
目標:年間CO₂削減量(見込)の80%以上

地域活性化効果

- ・地域貢献等効果
目標:平均60点以上(地域関係者の出融資、創出雇用者等を総合的に評価)
- ・出資案件の地域ブロックカバー
目標:未出資地域ブロックの出資案件を年間1件以上
- ・地域型サブファンドの組成件数
目標:年間1件以上

地域活性化効果

- ・地域貢献等効果
目標:各出資案件 60点以上(地域関係者の出融資、創出雇用者等を総合的に評価)

民間資金の呼び水効果

- ・出資額に対する民間資金の比率
目標:3.0倍以上

民間資金の呼び水効果

- ・各案件の出資額に対する民間資金の比率
目標:3.0倍以上

政策性